

郷土文化講演会

近代の知性 生田長江^{いくた ちやうこう} 再読の試み

生田長江は日野町貝原に生まれ、評論家として夏目漱石、島崎藤村らを批評し、翻訳家としてはニーチェを日本で初めて本格的に紹介した人物として有名です。また、生田春月・佐藤春夫などの文学者を育て、「青鞥」の名付け親となるなど、後進の育成にも尽力しました。

本講演会では、平成二二年三月に発行した『郷土出身文学者シリーズ六 生田長江』の三人の執筆者の方々に御講演いただき、これまで充分に語られてこなかった生田長江の全体像に迫ります。

日時 平成二三年一月二二日(土)

午後二時〜午後四時

会場 鳥取県立図書館

二階 大研修室

JR鳥取駅からバスで「県庁日赤前」バス停下車

入場無料

内容および講師

その生涯と業績

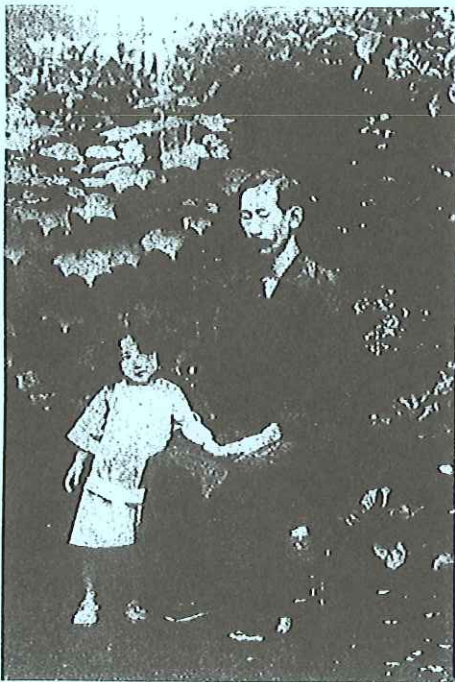
大野秀(米子市立図書館)

生田長江と「青鞥」

中田親子(昭和女子大学)

生田長江の横断性

佐々木孝文(鳥取市教育委員会)



大正5年 生田長江と長女まり子(『長江全集』第1巻より)

お問い合わせ

鳥取県立図書館

〒680-0017 鳥取市尚徳町101 電話 0857-26-8155 FAX 0857-22-2996

ホームページ <http://www.library.pref.tottori.jp/>